令和5年度　事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1 2月補正後

事　項	**公立大学法人愛媛県立医療技術大学運営費**	予算主管課	保健福祉課
事　業 概　要	県立医療技術大学の円滑な業務運営を確保するため、運営費の一部を交付するとともに、公立大学法人評価委員会の運営を行う。□	始期	H22
		終期	-

KPI

県立大学卒業生の県内就職率

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	63.8　%	目標値	50 %	目標値	50 %	目標値	50 %	目標値	50 %
		実績値	41.2 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
		達成率	82.40 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	754,751 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	754,321 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）

最も大きな要因は、令和５年度に卒業・就職した学生の県内出身率が低かったことであると考えられる。就職者の県内出身率と県内就職率には相関関係があり、平成22年度の法人化以降で比較して、県内出身率が過去最高の74.5%であった令和４年度卒業生では、県内就職率も63.8%と過去最高値である。逆に、令和５年度の県内出身率は54.4%と過去二番目の低さであり、県内就職率は過去最低となった。

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

改善

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））

県内出身率との相関関係から、県内就職率向上に向けた施策としては、例えば入学時点でより多くの県内出身学生を確保できるような制度の新設等が考えられる。令和６年度以降に卒業見込みの学生の県内出身率は70%超と高水準で推移しているが、コロナ禍で県内志向が一時的に高まっていたに過ぎない可能性もある。安定して一定以上の県内就職率を維持できるよう、令和６年度は、大学から現場の意見を吸い上げるなど県・大学間で連携しながら有効な施策の協議を行う。

2 当初

事　項	**へき地医療対策費**	予算主管課	医療対策課
事　業 概　要	へき地及び島しょ部住民等の医療の確保を図るため、へき地診療所の運営費、(福)恩賜財団済生会が実施する巡回診療に要する経費、へき地医療の支援を行う「へき地医療支援機構」及び「へき地医療拠点病院」の運営費を補助する。	始期	S33
		終期	-

KPI

無医地区の数

KPI種別	下がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	6　地区	目標値	6 地区	目標値	6 地区	目標値	6 地区	目標値	6 地区
		実績値	6 地区	実績値	地区	実績値	地区	実績値	地区
		達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	72,797 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	56,224 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

維持

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））

無医地区の調査は３年に一度行われ、次回の令和７年度調査の結果により見直しを検討する必要があることから、現時点で６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

3	当初	事　項	**保健医療計画推進事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	本県において、必要な医療の確保や、質の高い医療提供体制の構築に向け、県保健医療対策協議会を設置・運営するとともに、第8次愛媛県地域保健医療計画の策定に取り組む。	始期	S28
				終期	―

	ＫＰＩ	**保健医療計画の推進に係る会議に提案した内容の可決率**										
		KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
		現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%	
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コスト			最終現計予算額	3,515 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
				決算額	1,393 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

4	当初	事　項	**医師確保対策推進事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	県内の医師不足及び医師偏在の解消を図るため、県内外の医療機関を退職（退官）する医師等と県内の医療機関とのマッチングに取り組むとともに、特に医師不足が顕著な診療科における若手医師の確保を促進し、医療提供体制の維持を図る。	始期	H19
				終期	-

	ＫＰＩ	**・医療機関への医師のマッチング数（3人/年）※愛媛プラチナドクターバンク事業を通じて、松山圏域以外に就職した医師数 ・プラチナドクターバンク登録医師数（4人/年）**										
		KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		
		時点・期間	Ｒ２～Ｒ4年度	時点・期間	Ｒ２～Ｒ5年度	時点・期間	Ｒ6年度	時点・期間	Ｒ7年度	時点・期間	Ｒ8年度	
		現状値	マッチング数：7 登録医師数：15 人	目標値	10・19 人	目標値	13・23 人	目標値	16・27 人	目標値	19・31 人	
				実績値	11・20 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人	
				達成率	120.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コスト			最終現計予算額	20,125 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
				決算額	11,989 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度は目標値を達成しているが、医師確保及び偏在の是正は容易ではなく、継続して当事業に取り組む必要があることから、執行方法や予算の見直しは想定していない。

5	当初	事　項	**医師育成キャリア支援事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	愛媛大学医学部附属病院に地域医療支援センターを設置・運営し、若手医師(奨学生医師）及び医学生のキャリア形成や地域医療に従事する医師の支援等を図る。	始期	H24
				終期	R6

奨学金の貸与を受けた卒業医師で、知事指定医療機関に勤務している医師の数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
	現状値	108　人	目標値	127 人	目標値	139 人	目標値	人	目標値	人
			実績値	126 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	99.21 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	73,001 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	53,124 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 奨学金の貸与を受けた医師の中に、育児休業等やむを得ない事情により義務を中断していた者がいたことによるもの。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、今後もこれまでと同様に「地域枠」の学生及び医師のキャリア形成支援を行うためには、「地域医療支援センター」の果たす役割は大きいことから、執行方法や予算編成の見直しは想定していない。

6	当初	事　項	**医科歯科連携推進事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	安全で安心な質の高い歯科医療提供体制の充実を図るため、医科歯科連携のための歯科衛生士配置や、研修会等を開催し、口腔ケアで重要な役割を果たす歯科衛生士や歯科技工士の育成に係る経費を補助する。	始期	H26
				終期	－

歯科衛生士養成所を卒業した学生で県内に就職した歯科衛生士の人数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R３年度	時点・期間	R５年度	時点・期間	R６年度	時点・期間	R７年度	時点・期間	R８年度
	現状値	64　人	目標値	66 人	目標値	67 人	目標値	68 人	目標値	69 人
			実績値	71 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	107.58 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	79,981 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	68,217 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

7	当初	事　項	**在宅医療普及・連携促進事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	在宅医療推進のための研修会の開催や患者の入退院支援等を行う地域連携室、さらに、地域における包括的な在宅医療提供体制に欠かすことのできない在宅医療連携拠点の運営を支援することにより医療提供体制の構築に取り組むべく、必要経費を補助する。	始期	H26
				終期	―

訪問診療を受けた患者数（人口10万人当たり）

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R2年度	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度
	現状値	9000　人	目標値	9100 人	目標値	9200 人	目標値	9300 人	目標値	9400 人
			実績値	9992 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	109.80 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	106,425 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	81,648 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 新型コロナウイルス感染者の病床確保のために、一般病床数が減少したことや、入院中の面会制限により、多くの患者、家族が在宅医療を希望したことなどが、訪問診療を受けた患者数の急激な増加につながった可能性があることから、現時点においては、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

8	当初	事　項	**在宅歯科医療連携室整備事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	医療・介護との連携窓口、在宅歯科診療希望者の受付、在宅歯科医療や口腔ケア指導などを行う歯科診療所等の紹介・派遣、在宅歯科医療に関する広報・啓発などを行う連携室に対し補助を行う。	始期	H22
				終期	－

訪問診療を受けた患者数（人口10万人当たり）

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	時点・期間	R３年度	時点・期間	R５年度	時点・期間	R６年度	時点・期間	R７年度	時点・期間	R８年度
	現状値	110　人	目標値	116 人	目標値	122 人	目標値	128 人	目標値	134 人
			実績値	131 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
			達成率	113.11 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	50,559 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	47,571 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

9 当初

事　項	**地域医療体制確保医師派遣事業費**	予算主管課	医療対策課
事　業 概　要	診療機能の維持・確保が困難な状況にある地域において医師派遣の仕組みを構築し、圏域ごとに自立した医療提供体制の構築に対する経費を補助する。	始期	H23
		終期	-

KPI

医師派遣を受け体制を確保できた医療機関への延べ派遣医師数

KPI種別	下がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	1494　人	目標値	1494 人	目標値	1494 人	目標値	1494 人	目標値	1494 人
		実績値	1485 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
		達成率	100.61 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	141,468 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	128,720 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ見込みどおりの成果となっており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは同水準となると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

10 当初

事　項	**地域医療勤務環境改善事業費**	予算主管課	医療対策課
事　業 概　要	医療機関の勤務環境改善計画の策定等を支援する県医療勤務環境改善支援センターを設置するとともに、地域医療勤務環境改善体制整備事業により、各医療機関の取組みを総合的に支援する体制の整備や各医療機関への補助を行う。	始期	H28
		終期	-

KPI

愛媛県医療勤務環境改善支援センターの指導によって改善した医療機関数(割合)

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	100　%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
		達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	31,762 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	4,527 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度

要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R6年度から全面的に施行された医師の働き方改革を受け、制度が円滑に運用されるよう、引き続き医療機関の取り組みを支援する必要がある。

11	当初	事　項	**地域医療医師確保奨学金貸付金**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	県下で医師不足が深刻化する中、国の大学医学部定員の増員方針のもと実施される愛媛大学の定員増と連動した奨学金制度の実施により、確実かつ効果的な医師の確保を図る。	始期	H21
				終期	R6

奨学金の定員充足率

K P I	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度		
	現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
			実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%		
			達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
コ ス ト			最終現計予算額	208,428 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
			決算額	198,381 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績は達成率100%である。医師を安定的に養成・確保するためには、事業の継続性が求められるため、執行方法や予算編成の見直しは想定していない。

12	当初	事　項	**地域医療学講座設置事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	愛媛大学に県からの寄附による専門講座を設置し、地域の医療環境の充実、医療レベルの向上、地域住民の健康増進を図るとともに、県立南宇和病院にサテライトセンターを設置する。	始期	R5
				終期	R9

総合診療科の専門医プログラム選択医師数

K P I	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	時点・期間	H30～R４年度	時点・期間	H30～R５年度	時点・期間	H30～R６年度	時点・期間	H30～R７年度	時点・期間	H30～R８年度		
	現状値	8 名	目標値	10 名	目標値	12 名	目標値	14 名	目標値	16 名		
			実績値	9 名	実績値	名	実績値	名	実績値	名		
			達成率	90.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
コ ス ト			最終現計予算額	29,667 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
			決算額	29,667 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 総合診療科は、2018年度の新専門医制度開始時に新設されたため当科を選択する医師は全国的にも少数（全体の約２%程度）であり、本県においても選択医師数が１名にとどまったことによる。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））

13	当初	事　項	**地域医療構想推進費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	地域医療構想の達成に向けた取組みを推進するため、地域医療構想推進戦略会議等を開催するとともに、医療機関の病床削減の取組みに対して財政支援を行う。	始期	H27
				終期	―

		K P I	**地域医療構想の推進に係る会議に提案した内容の可決率**									
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
			現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
					実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
					達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コ　ス　ト			最終現計予算額	91,329 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
					決算額	85,460 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

14	当初	事　項	**地域小児・周産期学講座設置事業費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	愛媛大学に寄附講座「地域小児・周産期学講座」を設置し、小児・周産期医療に係る研究等を行い、地域のニーズに応えうる小児・周産期医療の体制構築を図る。	始期	R2
				終期	R6

		K P I	**地域小児・周産期学講座教員数**									
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
			現状値	4 名	目標値	4 名	目標値	4 名	目標値	名	目標値	名
					実績値	4 名	実績値	名	実績値	名	実績値	名
					達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コ　ス　ト			最終現計予算額	48,800 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
					決算額	48,800 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） R6年度末をもって、５年間の協定の終期を迎えるが、当講座は県内の小児・周産期医療体制の維持・確保に寄与するものであることから、令和７年度以降の継続に向けて、関係者と調整する必要がある。

15	当初	事　項	**愛媛県臓器移植支援センター運営費**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	臓器移植支援の推進のため、臓器移植支援センターを運営する。	始期	S62
				終期	

KPI									
脳死患者からの臓器提供による県内レシピエント数									
KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	4　回	目標値	5 回	目標値	5 回	目標値	5 回	目標値	5 回
		実績値	4 回	実績値	回	実績値	回	実績値	回
		達成率	80.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	15,331 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	13,418 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 適合条件に合致するドナーの数が目標値に満たなかったため。	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 臓器移植の普及啓発活動や移植コーディネート活動は、その業務の性格上、活動が成果に直結するものではなく、移植医療推進のためには、普及啓発等の継続した取組が必要である。

16	当初	事　項	**自治医科大学負担金**	予算主管課	医療対策課
		事　業 概　要	自治医科大学の運営･在学生の修学に要する都道府県負担金を支出する。	始期	S47
				終期	-

KPI									
自治医科大学卒業後県内のへき地に勤務している医師数									
KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	25　人	目標値	26 人	目標値	27 人	目標値	28 人	目標値	29 人
		実績値	29 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
		達成率	111.54 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コスト		最終現計予算額	131,200 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	131,200 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） ５年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、６年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、６年度の執行方法や７年度予算の見直しは想定していない。

17 当初	事　項	**遠隔医療支援システム整備モデル事業費**		予算主管課	医療対策課
	事　業 概　要	医師不足地域等の地域医療体制を確保するため、愛南地域で5Gを活用した診療機能強化・若手医師診療支援のモデルを構築し、得られた成果をもとに他の医師不足地域等への拡大を目指す。		始期	R2
				終期	R6

K　P　I	**遠隔医療支援システムを活用して対応した延べ患者数（１月当たり）**											
	KPI種別	上がると良い指標	R　5　年　度			R　6　年　度			R　7　年　度		R　8　年　度	
	時点・期間	R４年度	時点･期間	R５年度		時点･期間	R6年度		時点･期間		時点･期間	
	現状値	10　人	目標値	20	人	目標値	50	人	目標値	人	目標値	人
			実績値	21	人	実績値		人	実績値	人	実績値	人
			達成率	105.00	%	達成率		%	達成率	%	達成率	%
	コ　ス　ト		最終現計予算額	39,632	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	35,330	千円	決算額		千円	決算額	千円	決算額	千円

5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）	
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）	
	見直し方向性	大幅見直し（事業組替等）	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 本事業の最終年度である令和６年度は、これまでのモデル事業の成果を踏まえ、へき地診療所等におけるオンライン診療の運用開始を目指し、令和７年度予算への反映を見据え、協議・検討事業を実施することとしている。